

- 高松市の南部に位置する塩江地域では住民の高齢化、過疎化により手遅れ林の増加が課題となっている。
- このため、森林整備の基礎資料となる森林所有者の森林経営や管理に関する意向を調査することを目的として、森林整備意向調査業務を実施した。

事業内容

森林整備意向調査業務委託

- ・ 森林所有者の意向調査
- ・ 成果品取りまとめ及び提出

【事業費】 6,886千円（うち譲与税6,886千円）

【実績】 調査面積205.23ha 筆数376筆

取組の背景

・ 高松市では、松くい虫被害対策を行った後の土地に植栽された人工林が利用期となり始めたが、木材価格の低迷、森林所有者の高齢化、相続の放置などにより人工林の管理・施業が行われない森林が増加している。

・ 塩江地区はダムの上流域に多くの人工林を有することから公益的機能の高い地区であり、高松市にとっても重要な水源地であることから優先的に意向調査を実施した。

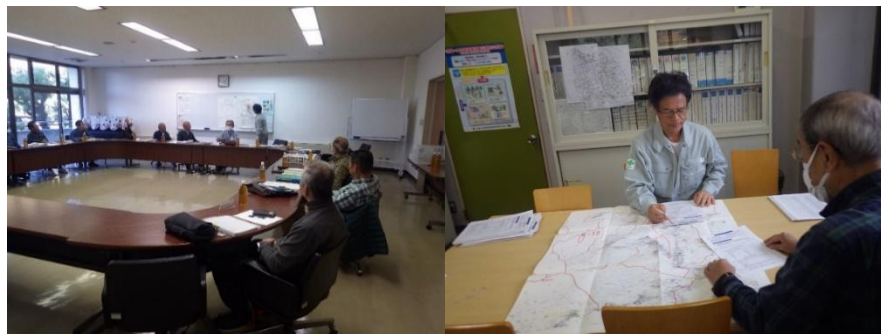
工夫・留意した点

・ 塩江地区はダムの上流域に多くの人工林を有することから公益性の高い地区であり、高松市にとっても重要な水源地であることから、令和4年度から3年間、内場ダム上流域で優先的に意向調査を実施した。

・ 意向調査発送後に、未回答の所有者に再送付したり、また回答内容の不明点を電話問い合わせや戸別訪問を行ったことにより、意向調査の回答率を75%まで高めることができた。

取組の効果

・ 意向調査の回答に対する問い合わせ等を行う等、所有者とのコミュニケーションの中で、造林事業の制度の普及、森林経営計画等への参画が増加した結果、森林整備が進んだ。



(意向調査検討会)

(意向調査の様子)

基礎データ

①令和6年度譲与額：69,594千円		②私有林人工林面積（※1）：2,201ha	
③林野率（※1）：37.9%	④人口（※2）：417,496人	⑤林業就業者数（※2）：70人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より